

(1) 九州大学：ダッシュボード概要

九州大学は、使用ツールがTableauとなるが、可視化している項目数が非常に多かった。

ダッシュボード名称	設置区分	概要	URL	BIツール	活用しているオープンデータ等
Interactive FACT BOOK	国立	インスティテューショナル・リサーチ室（IR室）作成のファクトブック	https://www3.ir.kyushu-u.ac.jp/data-info/public/datacollections/factbook-online ※	Tableau	産連調査、大学基本情報等

凡例 ○：事例有、△一部事例有、－：事例無

	可視化項目	事例の有無
①	所属教員数及び所属教員比率	○
②	研究者の受入人数（学外所属別及び区分別）	○
③	共同利用・共同研究の採択状況	△
④	共同利用・共同研究を活用して発表された論文数及び分野別論文比率	△
⑤	科学研究費等の採択状況（採択金額及び採択件数）	○
⑥	民間との共同研究実施状況（金額及び件数）	○
⑦	受託研究実施状況（金額及び件数）	○
⑧	財務情報（決算額等）	○
⑨	国際交流状況	○
⑩	学生受入状況（大学院生受入数、留学生受入数）	○
⑪	シンポジウム等の実施状況	－
⑫	施設・設備の利用状況	－
⑬	資料の利用・提供・整備状況	－
⑭	研究用データ等の作成・公開状況	－

共同利用・共同研究拠点：認定あり

【単独型】

応用力学研究所
生体防御医学研究所
マシ・フォア・インダストリ研究所

【拠点ネットワーク】

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点：情報基盤研究開発センター
物質・デバイス領域共同研究拠点：先導物質化学研究所※

※本報告書では、Webサイトリニューアル（2025年3月実施）前の内容に基づき作成している。リニューアル後のURLは以下の通り。

<https://www3.ir.kyushu-u.ac.jp/disclosure/factbook/factbook-online/>

(2) 九州大学：ダッシュボードの特徴

九州大学のInteractive FACT BOOKの特徴は、可視化しているダッシュボード数が多いことである。教職員数や学生数など12項目に対し、25種類のダッシュボードが存在する。(下記目次では14項目あるが、14項目のうち2項目はPDFのため除いている)

目次

1. 概要・他大学との比較 (Pdf)

2. 教職員数等

I. 教職員全体

II. 教員

III. 職員

3. 学生数

I. 学部

II. 大学院

4. 志願状況

I. 学部

II. 大学院

5. 入学状況

I. 学部

II. 大学院

6. 学位取得状況

I. 学部

II. 大学院

7. 進路・就職状況

I. 学部

II. 大学院

8. 資格試験等合格状況

9. 研究

I. ジャーナル分類分野に基づいた本学全体の傾向 (Pdf)

II. 論文の量と質

III. 国際共著論文

IV. 世界各国との国際共著状況 (別ページ)

10. 国際

I. 海外大学との交流状況

II. 学生の海外留学状況

III. 外国人留学生の受入状況

11. 産学官連携

I. 共同研究・受託研究

II. 知的財産関連

12. 附属病院

13. 収入・支出

I. 収入・支出予算

II. 科学研究費助成事業・寄附金・産学連携等研究収入

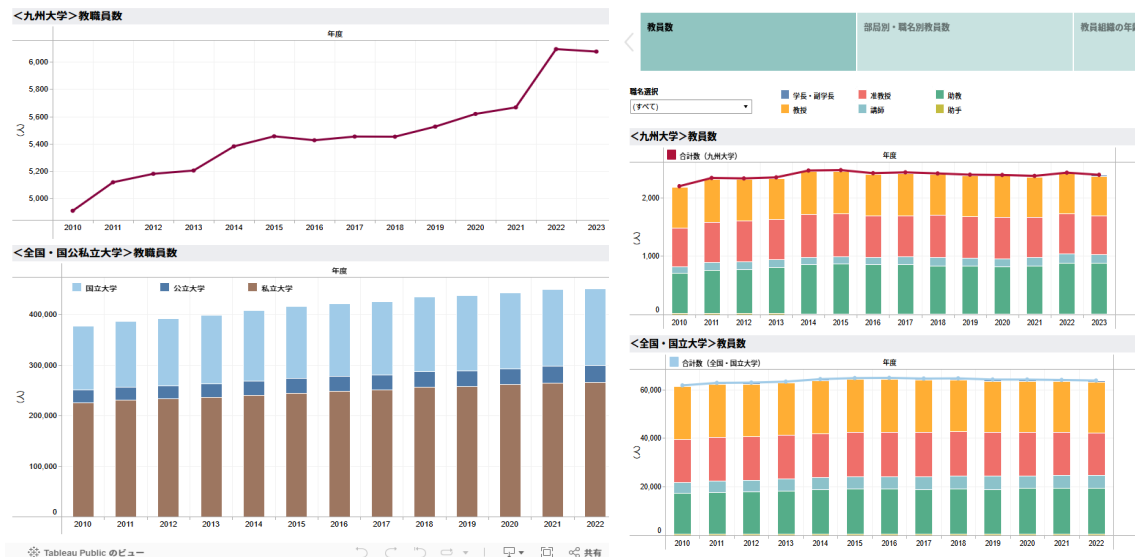
14. 研究プログラム及び教育プログラムの採択状況 (Pdf)



(3) 九州大学：可視化項目①② 1/6

所属教員数について、九州大学で特徴的であるポイントは、自大学と全国の国公立大学と同じ項目で比較できるダッシュボードが多いところである。例えば、教職員数に関して、自大学の経年変化と国公立大学の経年変化を縦に並べて確認することが出来る。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
教職員数	- 九州大学の教職員数について、経年の推移を可視化 - 全国・国公立大学の教職員数について、国立大学／公立大学／私立大学の内訳を示し、経年の推移を可視化	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)
教員数	- 九州大学の教員数について、職名（学長・副学長／教授／准教授／講師／助教／助手）の内訳を示し、経年の推移を可視化 - 九州大学の教員数合計について、折れ線グラフで経年の推移を可視化 - 全国・国立大学の教員数について、職名（学長・副学長／教授／准教授／講師／助教／助手）の内訳を示し、経年の推移を可視化 - 全国・国立大学の教員数合計について、折れ線グラフで経年の推移を可視化	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)



【効果】
自大学の経年変化と国公立大学の経年変化を縦に並べて確認することが出来、自大学と全国・国立大学を比較した位置づけやトレンドを一目で把握できる。

(3) 九州大学：可視化項目①② 2/6

九州大学でも、北海道大学同様に、所属教員数について、部局ごとの詳細な職名別の推移を表示できた。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
教職員数	九州大学の部局別・職名別の教員数の推移について、内訳を可視化	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)
教員組織の年齢構成	- 九州大学教員組織の年齢構成について、年齢別で内訳を示し、経年の推移を可視化 - 九州大学の教員組織について、39歳以下を特だして経年の推移を可視化	棒グラフ(縦) 棒グラフ(横)

【効果】
部局ごとの詳細な職名別の推移を表示できる



出典 Interactive FACT BOOK <https://www3.ir.kyushu-u.ac.jp/data-info/public/datacollections/factbook-online>

(3) 九州大学：可視化項目①② 3/6

九州大学では、外国人教員数や女性研究者について様々なグラフや指標を用いて可視化を行っている。また、自大学の経年変化とベンチマーク先の大学の経年変化を縦に並べて確認することができ、指定国立大学法人構想KPIや、第4期中期目標・中期計画KPIを意識してベンチマークを行っている項目も確認された。下記に可視化項目を説明する。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
外国籍を有する教員数	- 九州大学の外国籍を有する教員数について、職名（学長・副学長／教授／准教授／講師／助教／助手）の内訳を示し、経年の推移を可視化 - 全国・国立大学で外国籍を有する教員数のベンチマークを行っている	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)
外国人教員数	- 九州大学の外国人教員数について、外国で通算1年以上の教育研究歴のある日本人教員／外国の大学で学位を取得した日本人教員／外国籍を有する教員で内訳を示し、経年の推移を可視化 - 指定国立大学法人構想KPIや、第4期中期目標・中期計画KPIを意識してベンチマークを行っている	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)



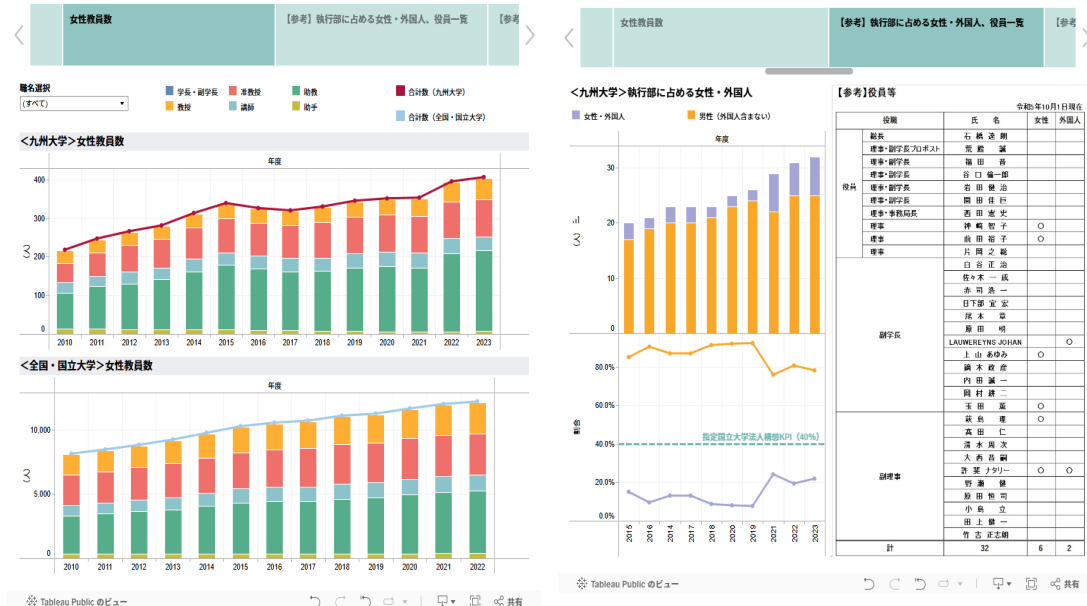
【効果】
自大学の経年変化とベンチマーク先の大学の経年変化を縦に並べて確認することが出来、自大学の位置づけやトレンドを一目で把握できる。

【効果】
グラフ内に指定国立大学法人構想KPIや、第4期中期目標・中期計画KPIが記載されており、それらを意識して自大学の教員数を把握できる。

(3) 九州大学：可視化項目①② 4/6

九州大学では、外国人教員数や女性研究者について様々なグラフや指標を用いて可視化を行っている。また、自大学の経年変化とベンチマーク先の大学の経年変化を縦に並べて確認することができ、指定国立大学法人構想KPIや、第4期中期目標・中期計画KPIを意識してベンチマークを行っている項目も確認された。下記に可視化項目を説明する。

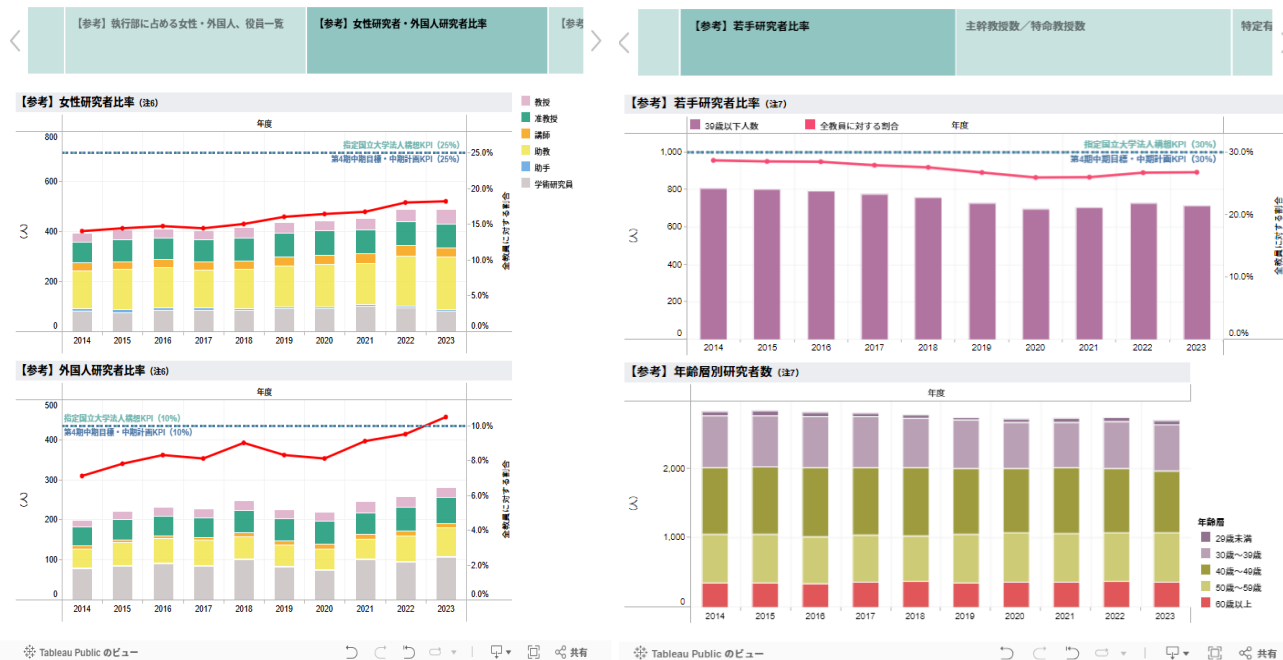
可視化項目	情報発信の内容	表示方法
女性教員数	- 九州大学の女性教員数について、職名（学長・副学長／教授／准教授／講師／助教／助手）の内訳を示し、経年の推移を可視化 - 全国・国立大学で女性教員数のベンチマークを行っている	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)
執行部に占める女性外国人	- 執行部に占める女性外国人と、男性（外国人を含まない）の数について、経年の推移を可視化 - 執行部に占める女性外国人と、男性（外国人を含まない）の割合についても可視化されており、指定国立大学法人構想KPIを意識したベンチマークが行われている - 役員名の一覧もテーブルで表示されている	折れ線グラフ 棒グラフ(縦) テーブル



(3) 九州大学：可視化項目①② 5/6

九州大学では、外国人教員数や女性研究者について様々なグラフや指標を用いて可視化を行っている。また、自大学の経年変化とベンチマーク先の大学の経年変化を縦に並べて確認することができ、指定国立大学法人構想KPIや、第4期中期目標・中期計画KPIを意識してベンチマークを行っている項目も確認された。下記に可視化項目を説明する。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
女性研究者比率 外国人研究者比率	- 女性研究者比率と外国人研究者比率について、職名（学長・副学長／教授／准教授／講師／助教／助手）の内訳を示し、経年の推移を可視化 - 指定国立大学法人構想KPIや、第4期中期目標・中期計画KPIを意識してベンチマークを行っている	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)
若手研究者比率 年齢層別研究者数	- 若手研究者比率について、39歳以下人数の経年の推移と、全教員に対する割合の推移を可視化 - 若手研究者について、年齢層（29歳未満／30～39歳／40～49歳／50～59歳／60歳以上）の内訳を示し、経年の推移を可視化	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)

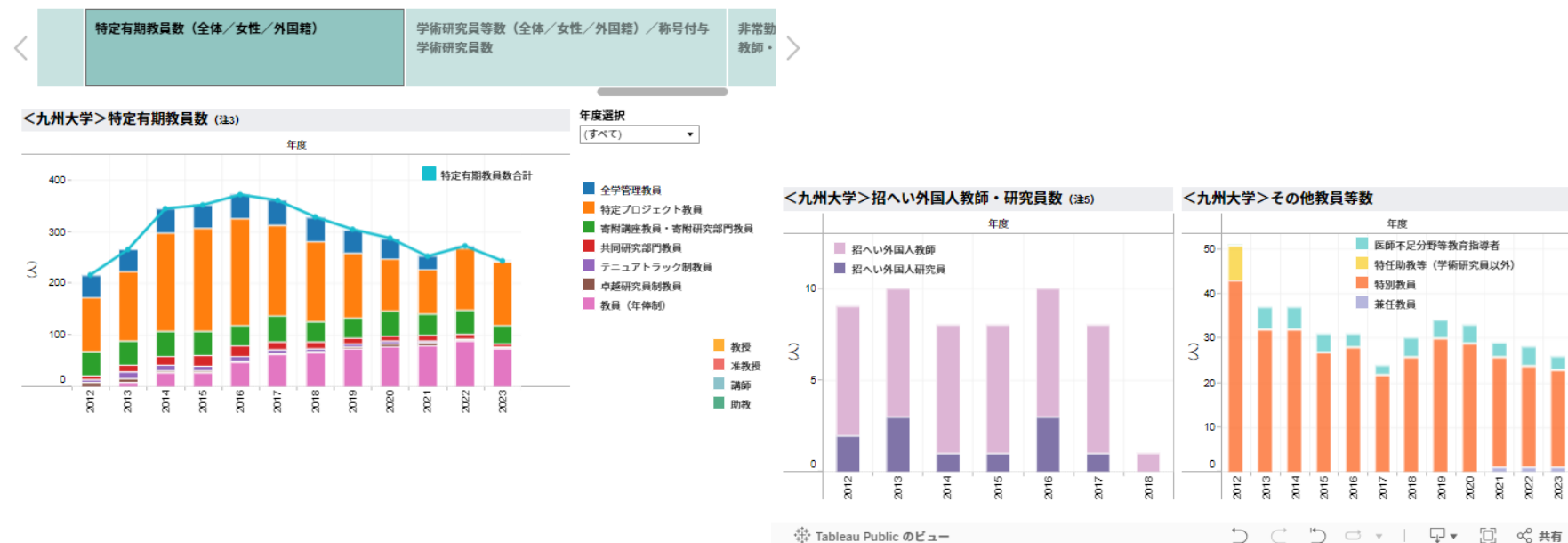


出典 Interactive FACT BOOK <https://www3.ir.kyushu-u.ac.jp/data-info/public/datacollections/factbook-online>

(3) 九州大学：可視化項目①② 6/6

九州大学では、外国人教員数や女性研究者について様々なグラフや指標を用いて可視化を行っている。また、自大学の経年変化とベンチマーク先の大学の経年変化を縦に並べて確認することができ、指定国立大学法人構想KPIや、第4期中期目標・中期計画KPIを意識してベンチマークを行っている項目も確認された。下記に可視化項目を説明する。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
特定有期教員数	九州大学の特定有期教員数について、全学管理教員／特定プロジェクト教員／寄附講座教員・寄附研究部門教員／共同研究部門教員／テニュアトラック制教員／卓越研究員制教員／教員(年俸制)の内訳を示し、経年の推移を可視化	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)
招へい外国人教師・研究員数	九州大学の招へい外国人教師・研究員数について、招へい外国人教師と招へい外国人研究員の内訳を示し、経年の推移を可視化	棒グラフ(縦)
その他教員数	九州大学のその他教員等数について、兼任教員／特別教員／特任助教等（学術研究員以外）／医師不足分野等教育指導者の内訳を示し、経年の推移を可視化	

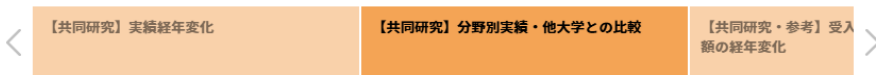


出典 Interactive FACT BOOK <https://www3.ir.kyushu-u.ac.jp/data-info/public/datacollections/factbook-online>

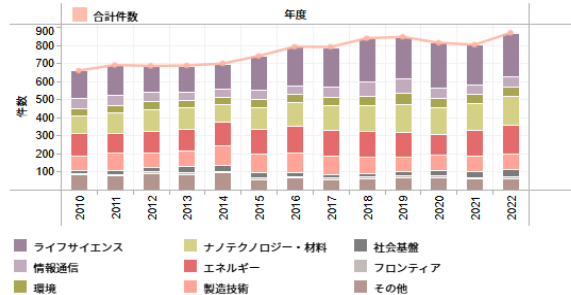
(4) 九州大学：可視化項目③

九州大学では、民間等との共同研究分野を切り口にした可視化事例があることが特徴的である（分野とは、ライフサイエンス／情報通信／環境／ナノテクノロジー・材料／エネルギー／製造技術／社会基盤／フロンティア／その他を指す）。他大学との比較（ランキング）の可視化事例も確認された。

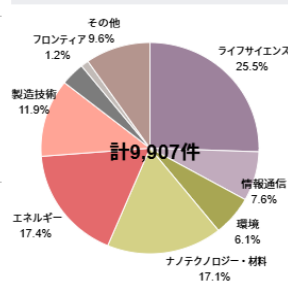
可視化項目	情報発信の内容	表示方法
民間等との共同研究分野別実績件数	九州大学の民間等との共同研究分野別実績件数について、共同研究分野の内訳を示し、経年の推移を可視化	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)
民間等との共同研究分野別割合	九州大学の民間等との共同研究分野別割合を可視化	円グラフ
他大学との比較	民間企業との共同研究実施件数／共同研究費受入額／民間との共同研究に伴う1件当たりの研究費受入額について、全国・国公立大学間でランキングを表示している	ランキング



<九州大学> 民間等との共同研究分野別実施件数 (注2)



<九州大学> (2010年~2022年合計)
民間等との共同研究分野別割合 (注2)



他大学との比較 (2021年) (注3)

民間企業との共同研究実施件数
(全国・国公立大学間)

順位	大学名	件数
1	東京大学	1,845
2	東北大学	1,337
3	大阪大学	1,308
4	京都大学	1,278
5	慶應義塾大学	778
6	東京工業大学	729
7	九州大学	717
8	北海道大学	681
8	神戸大学	681
10	名古屋大学	633

民間企業との共同研究費受入額
(全国・国公立大学間)

順位	大学名	受入額 (百万円)
1	東京大学	15,088
2	大阪大学	8,777
3	東北大学	8,200
4	京都大学	5,860
5	名古屋大学	3,482
6	慶應義塾大学	3,311
7	東京工業大学	2,065
8	九州大学	2,210
9	北海道大学	2,023
10	順天堂大学	2,014

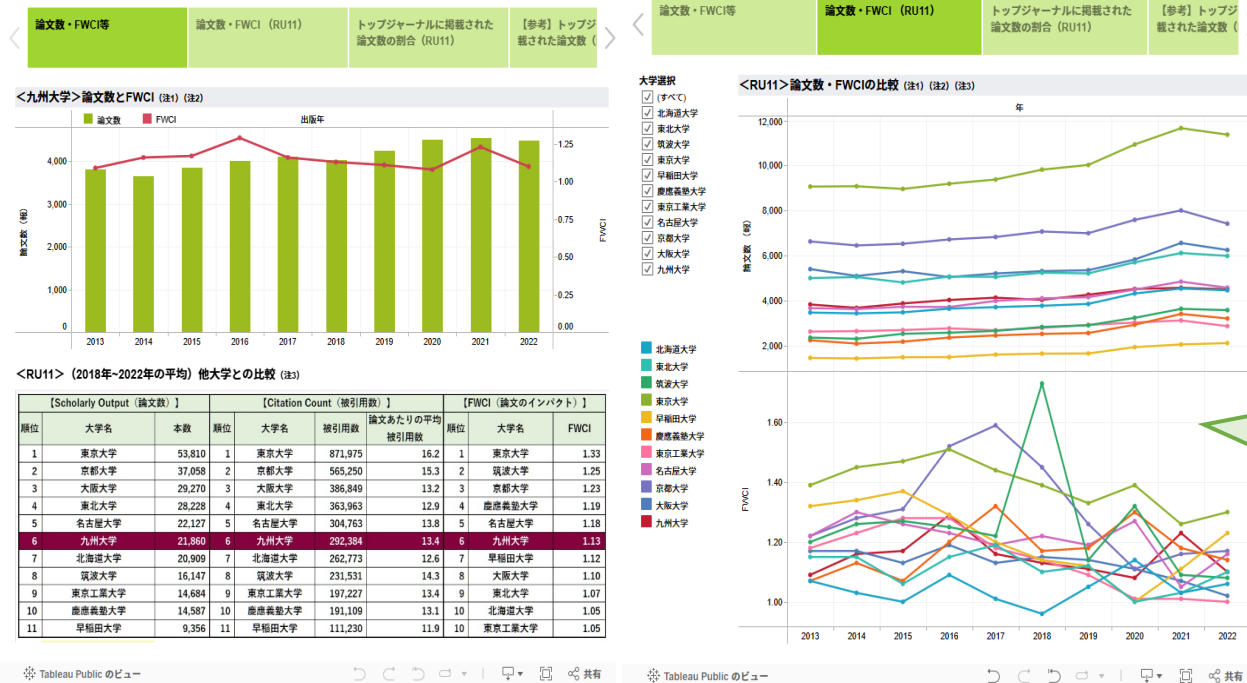
民間企業との共同研究に伴う1件当たりの研究費受入額
(全国・国公立大学間)

順位	大学名	一件当たりの受入額 (万円)	件数
1	順天堂大学	8,838	228
2	藤田医科大学	8,331	41
3	東京大学	7,768	1,045
4	京都先端科学大学	7,580	12
5	大阪大学	6,710	1,308
6	関西医科大学	5,842	20
7	名古屋大学	5,518	833
8	聖マリアンナ医科大学	5,182	18
8	北里大学	5,088	53
10	聖路加国際大学	5,071	12
28	九州大学	3,082	717

(5) 九州大学：可視化項目④ 1/5

九州大学でも、複数の論文数を扱った可視化項目が確認された。他の可視化項目同様、九州大学では自大学の実績に加え、他大学とのベンチマークについても注力して可視化していることが読み取れる。下記に可視化項目を説明する。

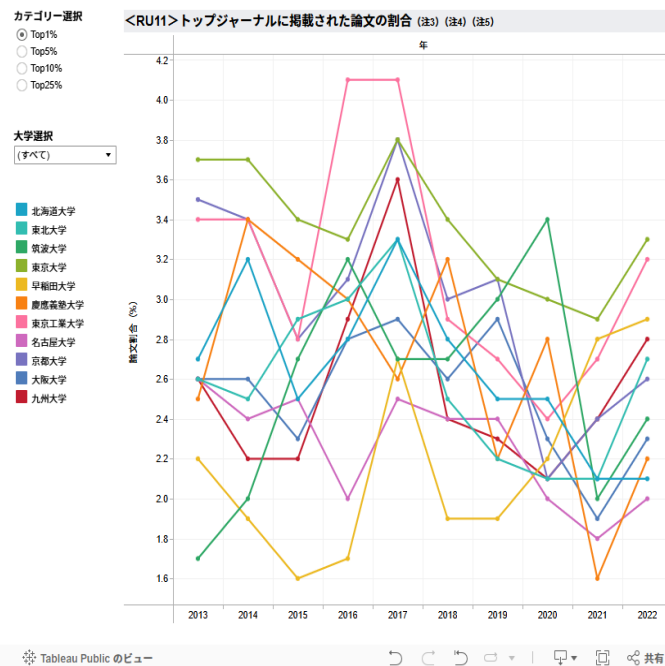
可視化項目	情報発信の内容	表示方法
論文数とFWCI	- 九州大学の論文数とFWCIについて、折れ線グラフで経年の推移を可視化 - 論文数／被引用数／FWCIの3つの項目について、他大学との比較を行い、自大学の位置をランキングを表示している	折れ線グラフ 棒グラフ(縦) ランキング
論文数・FWCIの比較	論文数とFWCIについて、大学別に経年の推移を表している	折れ線グラフ



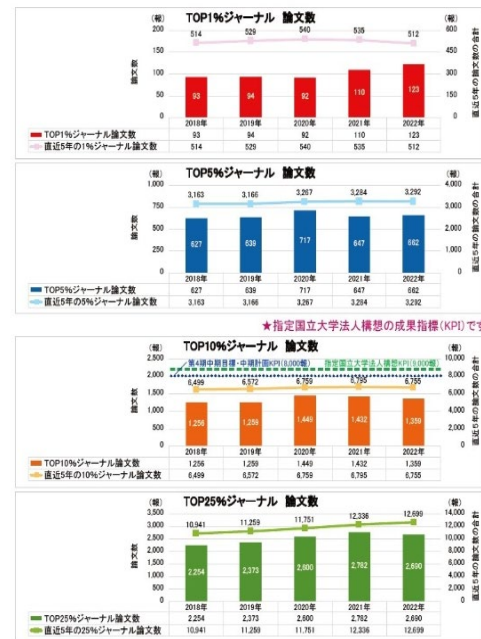
(5) 九州大学：可視化項目④ 2/5

九州大学でも、複数の論文数を扱った可視化項目が確認された。他の可視化項目同様、九州大学では自大学の実績に加え、他大学とのベンチマークについても注力して可視化していることが読み取れる。下記に可視化項目を説明する。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
トップジャーナルに掲載された論文数	トップジャーナルに掲載された論文数について、大学別／Top1%・Top5%・Top10%・Top25%別に経年の推移を表している	折れ線グラフ
	- Top1%・Top5%・Top10%・Top25%別に九州大学でのトップジャーナルに掲載された論文数の経年の推移を表している - 指定国立大学法人構想KPIや、第4期中期目標・中期計画KPIを意識してベンチマークを行っている	棒グラフ 折れ線グラフ



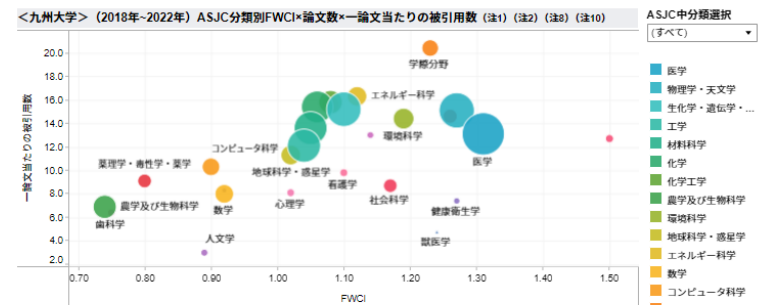
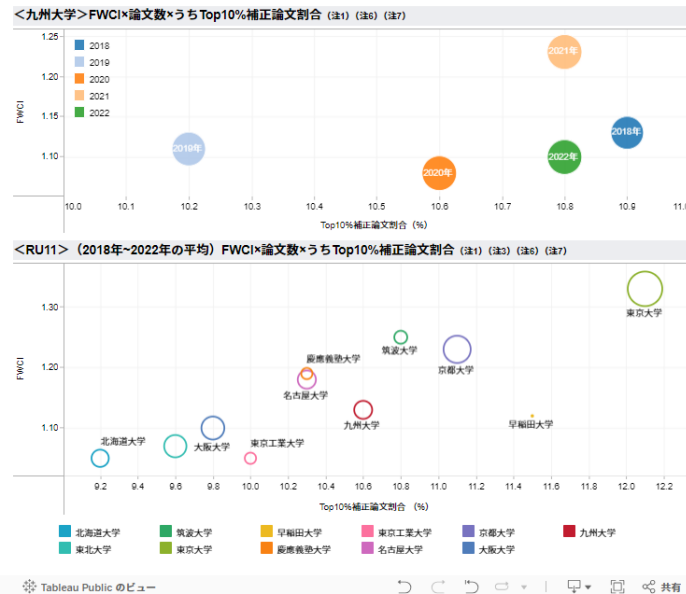
【参考】＜九州大学＞トップジャーナルに掲載された論文数 (注4) (注5)



(5) 九州大学：可視化項目④ 3/5

九州大学でも、複数の論文数を扱った可視化項目が確認された。他の可視化項目同様、九州大学では自大学の実績に加え、他大学とのベンチマークについても注力して可視化していることが読み取れる。下記に可視化項目を説明する。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
FWCI×論文数×うちTop10%補正論文割合	・ 年度別の論文数をバブルの大きさと可視化し、縦軸をTop10%論文割合、横軸をFWCIで可視化	バブルチャート
FWCI×論文数×うちTop10%補正論文割合	・ 2018年~2022年の平均で論文数の平均をバブルの大きさと可視化し、縦軸をTop10%論文割合、横軸をFWCIで可視化	
(2018~2022年の平均) ASJC分類別FWCI×論文数× 一論文当たりの被引用数	・ 民間企業との共同研究実施件数／共同研究費受入額／民間との共同研究に伴う1件当たりの研究費受入額について、全国・国公立大学間でランキングを表示している	
ASJC分類別FWCI上位10分野	・ 九州大学のASJC分類別FWCI上位10分野について、テーブルで可視化	テーブル



<九州大学> (2018年~2022年) ASJC分類別FWCI上位10分野 (注2) (注8) (注11) (注12)

順位	ASJC27中分類	ASJC334小分類	FWCI	論文数
1	Nursing	Psychiatric Mental Health	17.40	3
2	看護学	精神医学精神メンタルヘルス		
3	Immunology and Microbiology	Parasitology	3.63	21
4	免疫学・微生物学	寄生虫学		
5	Medicine	General Medicine	3.57	399
6	医学	医学全般		
7	Medicine	Anatomy	3.55	29
8	医学	解剖学		
9	Health Professions	Optometry	3.36	1
10	健康衛生学	視力測定		
11	Veterinary	Equine	2.91	3
12	獣医学	馬医学		
13	Veterinary	Small Animals	2.91	3
14	獣医学	小動物学		
15	Business, Management and Accounting	Business and International Management	2.45	27
16	ビジネス、経営学、会計学	ビジネス・国際経営		
17	Economics, Econometrics and Finance	General Economics, Econometrics and Finance	2.42	15
18	経済学・計量経済学・金融	経済学・計量経済学・金融全般		
19	Engineering	Engineering (miscellaneous)	2.40	206
20	工学	工学(その他)		

(5) 九州大学：可視化項目④ 4/5

九州大学でも、複数の論文数を扱った可視化項目が確認された。他の可視化項目同様、九州大学では自大学の実績に加え、他大学とのベンチマークについても注力して可視化していることが読み取れる。下記に可視化項目を説明する。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
国際共著論文	- 九州大学の国際共著論文の数について、経年の推移を表している。 - 折れ線グラフで直近5年間の累計（当該年を含む直近5年間の国際共著論文数）を表している。	棒グラフ 折れ線グラフ
研究院別 国際共著論文数と割合	九州大学の研究院別（工学研究院／理学院等）に、国際共著論文数の合計値と国際共著論文割合をテーブルで表している。	テーブル
国際共著論文数と割合	国際共著論文数と割合について、大学別に経年の推移を表している	折れ線グラフ

＜九州大学＞（2018年～2022年）国際共著論文数（注1）



＜九州大学＞（2018年～2022年）研究院別国際共著論文数と割合（注1）（注2）

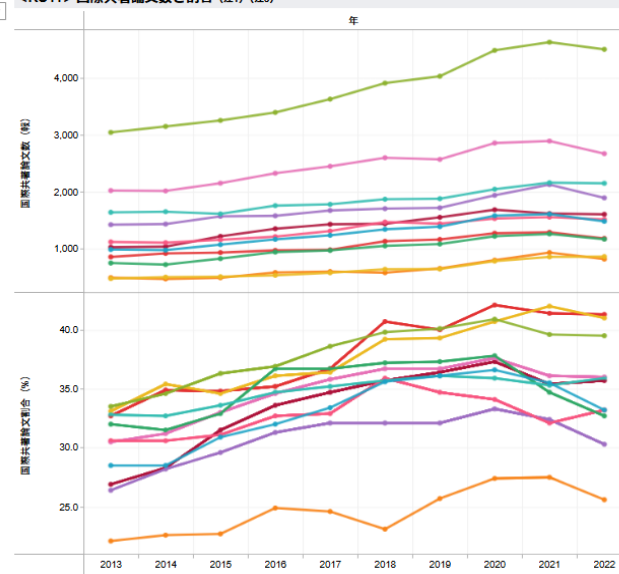
順位	研究院	国際共著論文数 (合計) (紙)	国際共著論文割合 (平均) (%)
1	工学研究院	1,202	33.5
2	理学研究院	955	50.6
3	医学研究院	763	16.9
4	農学研究院	693	42.3
5	総合理工学研究院	473	42.8
6	システム情報科学研究院	375	39.8
7	薬学研究院	154	26.2
8	農学研究院	150	24.0
9	芸術工学研究院	83	27.5
10	比較社会文化研究院	71	45.8
11	人間環境学研究院	50	29.2
12	数理学研究院	48	27.6
13	経済学研究院	39	26.9
14	言語文化研究院	7	21.9
15	法学研究院	6	75.0
16	人文科学研究院	3	10.0

年選択
(すべて)

大学選択
(すべて)

☒ 北海道大学
☒ 東北大学
☒ 筑波大学
☒ 東京大学
☒ 早稲田大学
☒ 慶應義塾大学
☒ 東京工業大学
☒ 名古屋大学
☒ 京都大学
☒ 大阪大学
☒ 九州大学

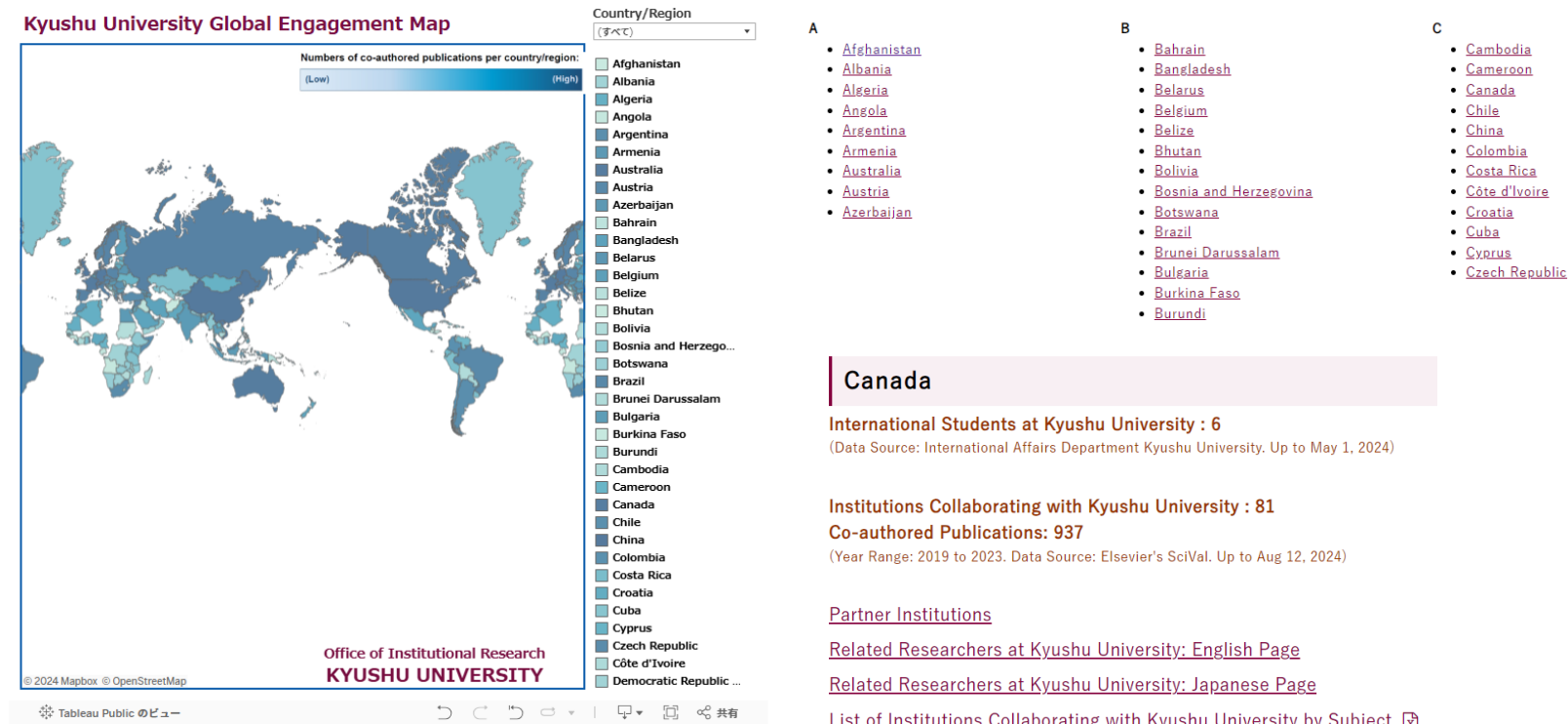
＜RU11＞国際共著論文数と割合（注1）（注3）



(5) 九州大学：可視化項目④ 5/5

九州大学でも、複数の論文数を扱った可視化項目が確認された。他の可視化項目同様、九州大学では自大学の実績に加え、他大学とのベンチマークについても注力して可視化していることが読み取れる。下記に可視化項目を説明する。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
世界各国との国際共著状況	- 九州大学との国際共著が多い国、少ない国について、地図上の色の濃淡でわかる ※地図の下部には国別のリンクが掲載されており、特定の国における九州大学の国際学生数や連携機関数、国際共著論文数がわかるページにジャンプすることが出来る	地図

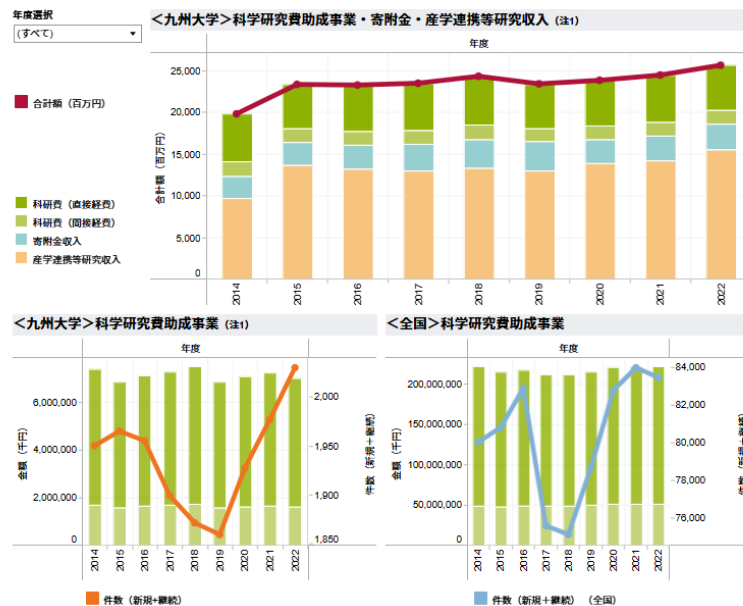


出典 Interactive FACT BOOK <https://www3.ir.kyushu-u.ac.jp/data-info/public/datacollections/factbook-online>

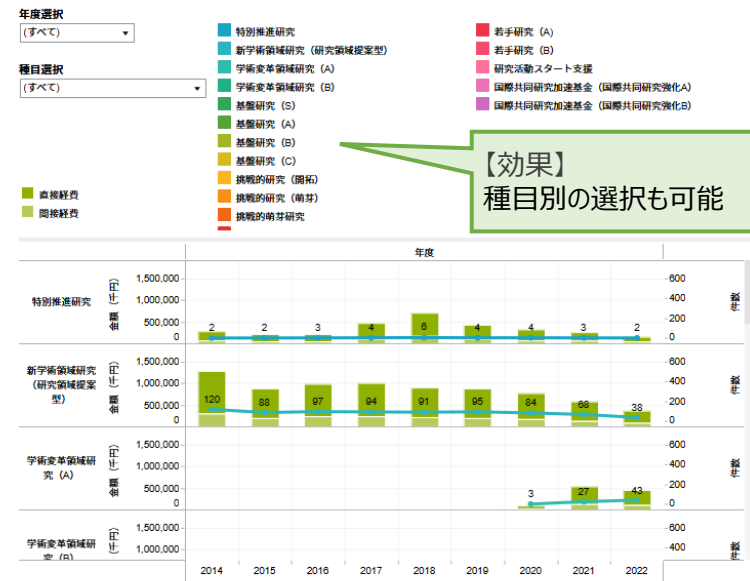
(6) 九州大学：可視化項目⑤ 1/2

科学研究費等の採択状況について、外部資金全体に占める科研費の割合を可視化した事例や、種目別実績の可視化事例が確認された。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
科学研究費助成事業・寄付金・産学連携等研究収入	九州大学の外部資金について、科研費（直接経費／間接経費）／寄附金収入／産学連携等研究収入の内訳を示し、経年の推移を可視化	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)
科学研究費助成事業	- 科学研究費助成事業における、九州大学の件数（新規、継続）の経年推移を可視化 - 全国平均との比較も行っている	
種目別科学研究費助成事業	九州大学の科学研究費助成事業における、種目別に直接経費と間接経費の内訳を示し、経年の推移を可視化	



＜九州大学＞種目別科学研究費助成事業 (注1) (注2)



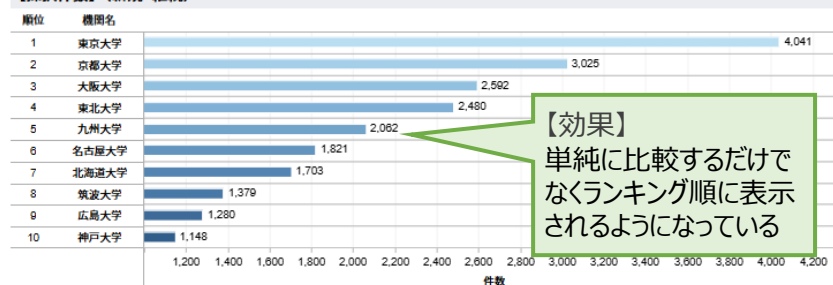
(6) 九州大学：可視化項目⑤ 2/2

科学研究費等の採択状況について、外部資金全体に占める科研費の割合を可視化した事例や、種目別実績の可視化事例が確認された。

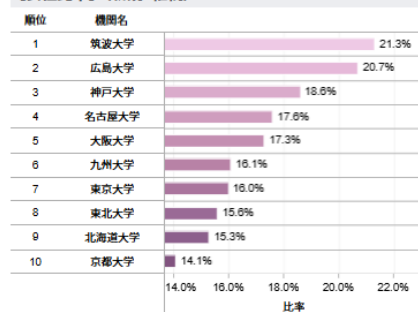
可視化項目	情報発信の内容	表示方法
科学研究費助成事業の比較	- 科学研究費助成事業において、採択件数（新規、継続）について他大学との比較を行っている - 採択件数のほかに、女性比率や若手比率についても可視化	棒グラフ(横)
	- 科学研究費助成事業において、配分額（新規、継続）について、直接経費と間接経費の内訳を示し、他大学との比較を行っている - 配分額のほかに、新規採択件数や新規採択率についても可視化	

<他大学比較> (2022年度) 科学研究費助成事業の比較 (注3)

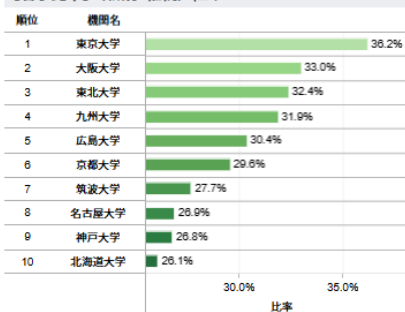
【採択件数】(新規+継続)



【女性比率】(新規+継続)



【若手比率】(新規+継続) (注4)

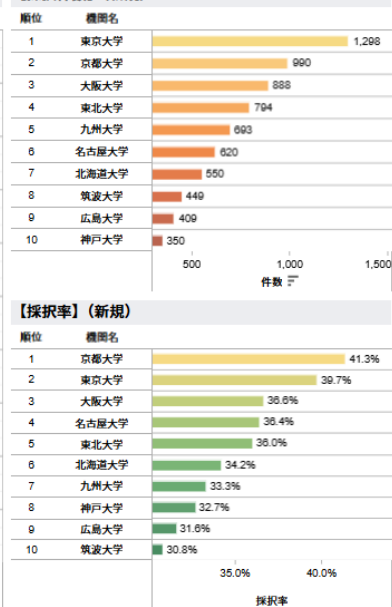


<他大学比較> (2022年度) 科学研究費助成事業の比較 (つづき) (注3)

【配分額】(新規+継続)



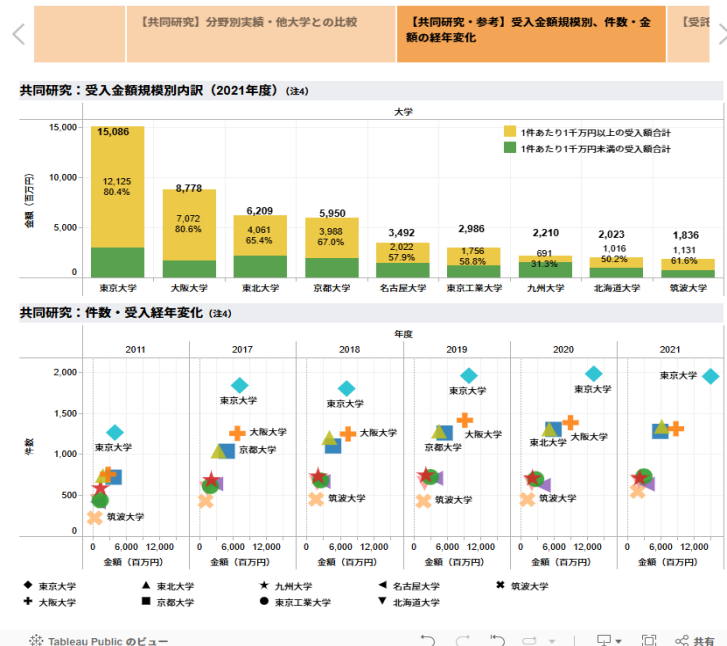
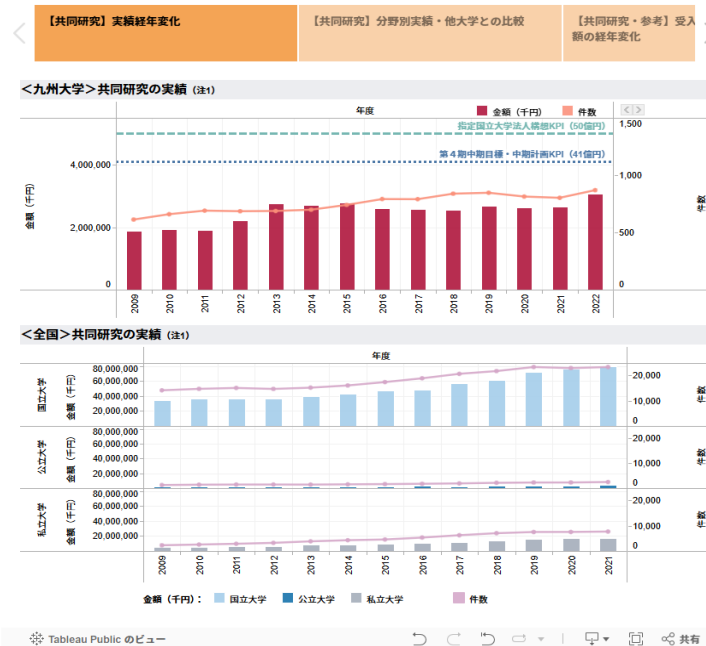
【採択件数】(新規)



(7) 九州大学：可視化項目⑥

共同研究については、実績の経年変化や、受け入れ金額規模別、件数・金額の経年変化が可視化されていた。

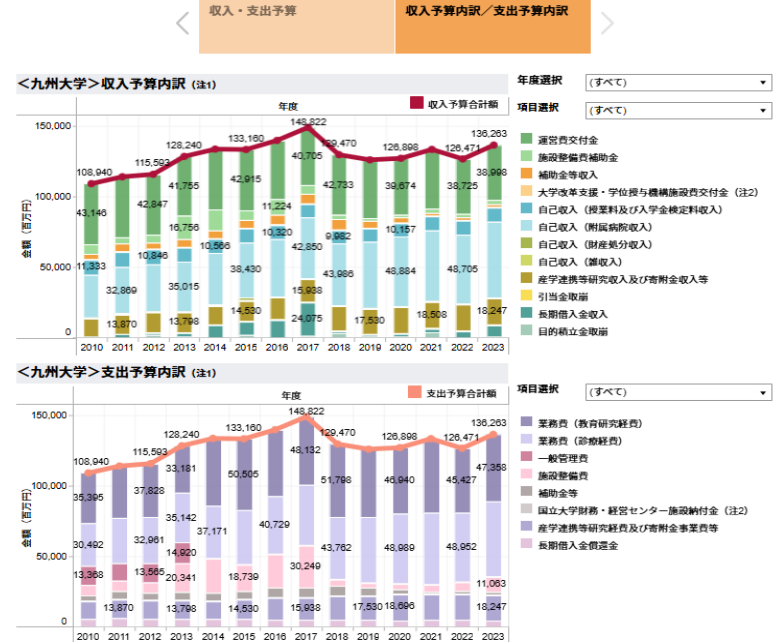
可視化項目	情報発信の内容	表示方法
共同研究の実績	- 九州大学の共同研究の実績について、金額と件数の経年の推移を可視化 - 指定国立大学法人構想KPIや、第4期中期目標・中期計画KPIを意識してベンチマークを行っている - 全国（国立大学、公立大学、私立大学）の共同研究の実績も可視化している	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)
受け入れ金額規模別、件数・金額の経年変化	- 共同研究の受け入れ金額について、1件当たり1,000万円以上／未満で内訳を表し、他大学との比較を行っている。 - 共同研究の件数・受入経年変化を棒グラフ・円グラフ以外で表現した珍しい事例	棒グラフ(縦) 散布図



(8) 九州大学：可視化項目⑧

財務情報については、収入・予算支出や、それぞれの内訳が可視化されていた。九州大学における他の可視化項目同様、財務情報についても他大学との比較が行われている点が特徴的である。

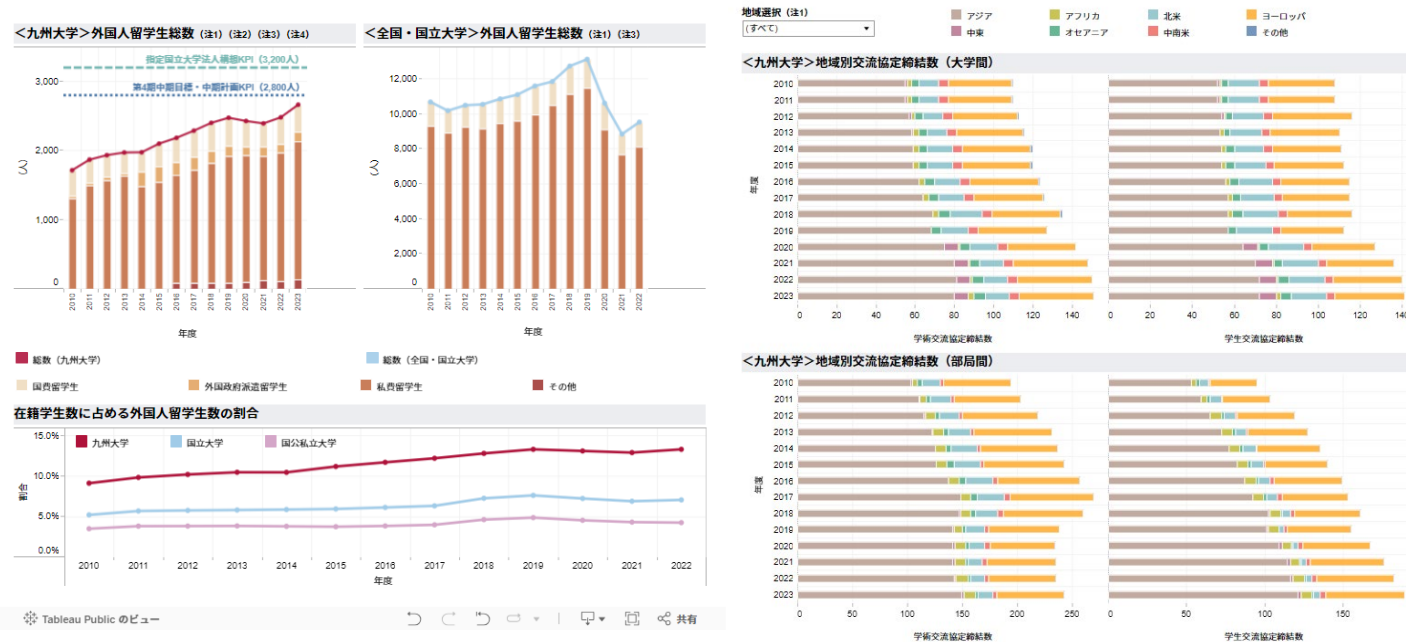
可視化項目	情報発信の内容	表示方法
収入・支出予算	九州大学の収入・支出予算について、それぞれの内訳を示し、経年の推移を可視化し、他大学との比較を行っている	棒グラフ(縦) 棒グラフ(横)
収入予算内訳／支出予算内訳	- 九州大学の収入・支出予算の内訳について、それぞれの内訳を示し、経年の推移を可視化している。 - 年度や項目（運営費交付金／施設整備費補助金等）で詳細に分類されている。	棒グラフ(縦) 折れ線グラフ



(9) 九州大学：可視化項目⑨

国際交流状況については、外国人留学生数や、在籍学生数に占める外国人留学生の割合や、地域別交流協定締結数について可視化されていた。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
外国人留学生数	- 九州大学の外国人留学生数について内訳を示し、経年の推移を可視化 - 指定国立大学法人構想KPIや、第4期中期目標・中期計画KPIを意識してベンチマークを行っている	折れ線グラフ 棒グラフ(縦)
在籍学生数に占める外国人留学生の割合	九州大学、国立大学、国公立大学との割合をそれぞれ可視化	折れ線グラフ
地域別交流協定締結数	九州大学の大学間と部局間の地域別交流協定締結数について、地域別に可視化	棒グラフ(横)



出典 Interactive FACT BOOK <https://www3.ir.kyushu-u.ac.jp/data-info/public/datacollections/factbook-online>